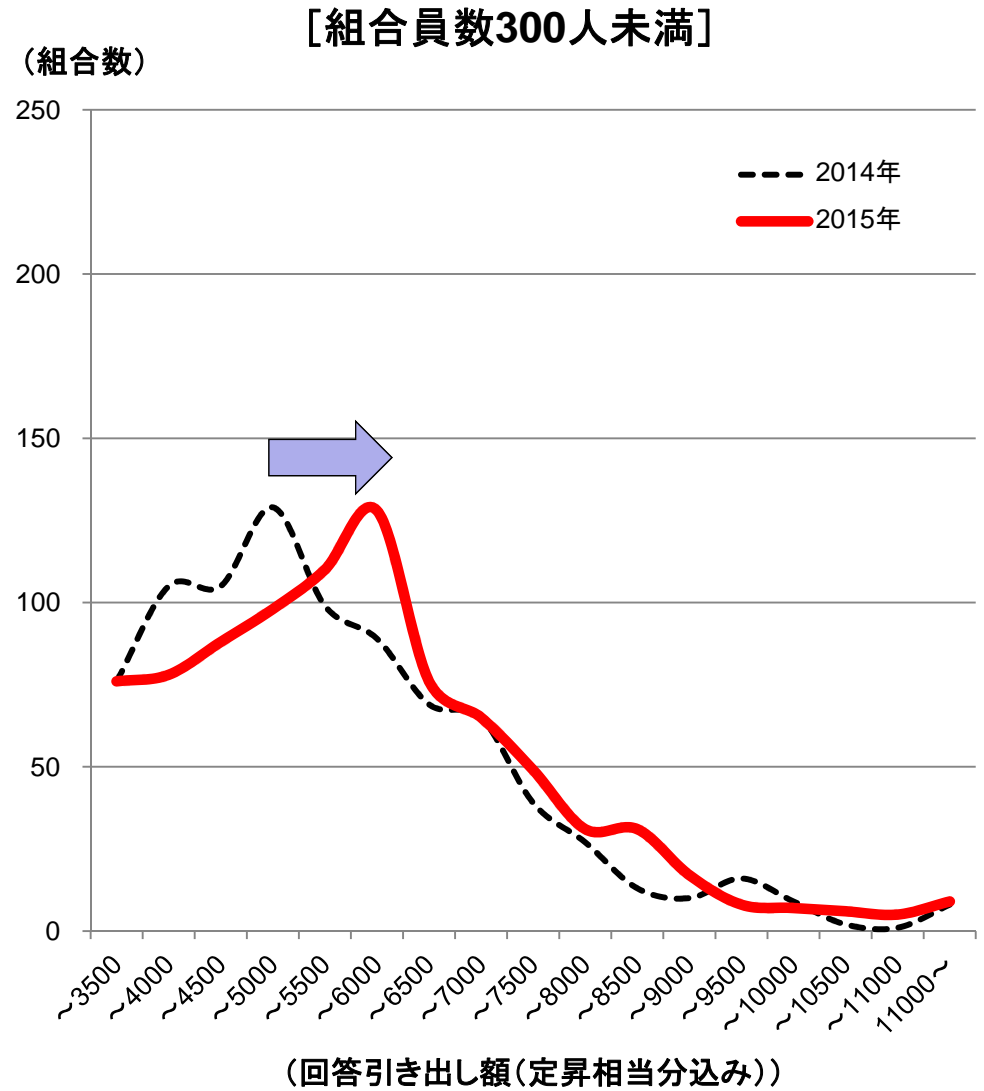
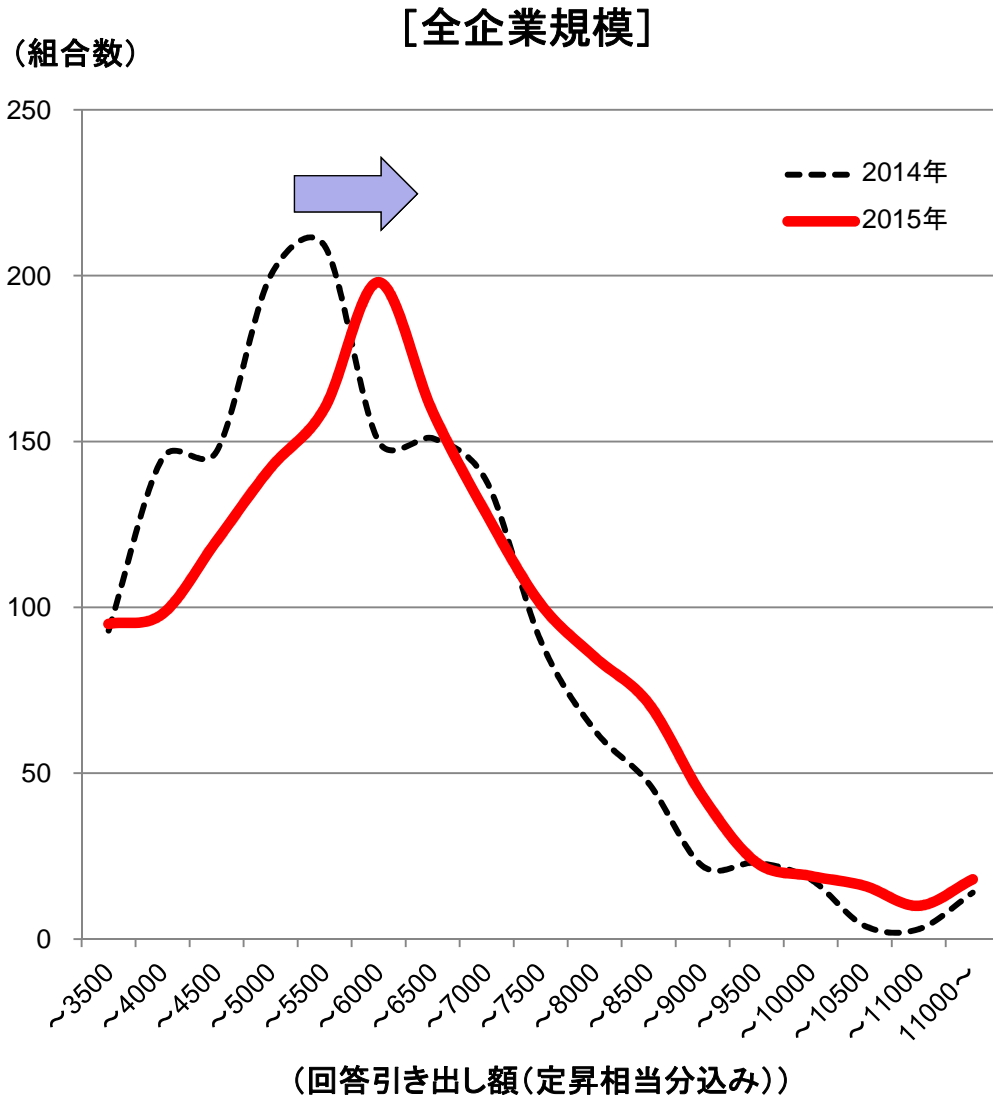


# 日本労働組合総連合会 古賀伸明 提出資料

① 2015 春季生活闘争集計結果（2015 年 3 月 31 日現在） …	1
② 2015 春季生活闘争中小労組元気派宣言（抜粋） ……………	6
③ 「地域フォーラム」 連合提起資料……………	9
「地域フォーラム」 の開催・検討状況……………	13

# 2015春季生活闘争集計結果(2015年3月31日現在)



(出所) 日本労働組合総連合会(連合)「2015春季生活闘争第3回回答集計」(2015年4月2日公表)



# 2015春季生活闘争集計結果(2015年3月31日現在)

## 1. 賃金引上げ

昨年同時期比 41組合増・449円増／昨年同一組合比 753組合・727円増

①平均賃金方式 (すべて組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2015回答(2015年3月31日集計)			昨年対比	2014回答(2014年3月31日集計)		
	集計組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計		集計組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計
	集計組合員数				集計組合員数		
	2,003 組合 1,953,887 人	<b>6,944</b> 円	<b>2.33</b> %	<b>449</b> 円 <b>0.13</b> ポイント	1,962 組合 1,877,022 人	<b>6,495</b> 円	<b>2.20</b> %
300人未満	1,216 組合 127,284 人	<b>5,185</b> 円	<b>2.08</b> %	<b>375</b> 円 <b>0.11</b> ポイント	1,178 組合 124,263 人	<b>4,810</b> 円	<b>1.97</b> %
300人以上	787 組合 1,826,603 人	<b>7,084</b> 円	<b>2.35</b> %	<b>470</b> 円 <b>0.13</b> ポイント	784 組合 1,752,759 人	<b>6,614</b> 円	<b>2.22</b> %

※ 2015年と2014年で集計対象組合が異なるため、「賃上げ額」と「賃上げ率」の昨年対比は整合しない。

②個別賃金方式 (組合数による単純平均)

個別賃金方式	2015回答(2015年3月31日集計)			
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	賃上げ率	到達水準
A方式35歳	44 組合 64,241 人	<b>2,428</b> 円	<b>0.85</b> %	<b>286,702</b> 円
A方式30歳	40 組合 39,041 人	<b>2,253</b> 円	<b>0.89</b> %	<b>254,851</b> 円
B方式35歳	77 組合 67,549 人	<b>7,103</b> 円	<b>2.60</b> %	<b>280,384</b> 円
B方式30歳	52 組合 29,898 人	<b>9,019</b> 円	<b>3.82</b> %	<b>245,361</b> 円

【注】

- A 方式: 特定した労働者(たとえば勤続17年・年齢35歳生産技能職、勤続12年・年齢30歳事務技術職)の前年度の水準に対して、新年度該当する労働者の賃金をいくら引き上げるか交渉する方式。この部分を連合は「純ベア」と定義した。
- B 方式: 特定した労働者(たとえば新年度勤続17年・年齢35歳生産技能職)の前年度の賃金に対し、新年度(勤続と年齢がそれぞれ1年増加)いくら引き上げるかを交渉する方式。

# 2015春季生活闘争集計結果(2015年3月31日現在)



## ③非正規労働者賃金（時給）引き上げ

	2015回答(2015年3月31日集計)			賃上げ額 昨年対比	2014回答(2014年3月31日集計)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給
単純平均	155 組合	<b>17.24 円</b>	<b>968.44 円</b>	<b>3.16 円</b>	129 組合	<b>14.08 円</b>	<b>934.91 円</b>
加重平均	434,472 人	<b>18.17 円</b>	<b>927.65 円</b>	<b>5.88 円</b>	434,710 人	<b>12.29 円</b>	<b>900.97 円</b>

※集計組合数は、時間給換算が可能な組合数

## ④非正規労働者賃金（月給）引き上げ

	2015回答(2015年3月31日集計)			賃上げ額 昨年対比	2014回答(2014年3月31日集計)		
	組合数組合員数	賃上げ額	賃上げ率(参考)		組合数組合員数	賃上げ額	賃上げ率(参考)
単純平均	110 組合	<b>3,756 円</b>	<b>1.85 %</b>	<b>417 円</b>	87 組合	<b>3,339 円</b>	<b>1.68 %</b>
加重平均	33,595 人	<b>4,237 円</b>	<b>2.11 %</b>	<b>1,046 円</b>	32,519 人	<b>3,191 円</b>	<b>1.62 %</b>

# 2015春季生活闘争集計結果(2015年3月31日現在)



## 2. 要求状況・妥結進捗

	2015回答(2015年3月31日集計)		2014回答(2014年3月31日集計)	
	組合数	率	組合数	率
集計組合総数	8,661 組合		8,537 組合	
要求提出組合	6,270 組合	72.4 %	6,377 組合	74.7 %
協約確定(要求必要なし)	82 組合	0.9 %	46 組合	0.5 %
その他(要求なしだが回答あり)	20 組合	0.2 %	27 組合	0.3 %
要求見送り	80 組合	0.9 %	609 組合	7.1 %
要求検討中・要求状況不明	2,209 組合	25.5 %	1,478 組合	17.3 %
要求提出組合	6,270 組合		6,377 組合	
妥結済				
3/15まで(集中回答日以前)	126 組合	2.0 %	77 組合	1.2 %
3月16日~22日	834 組合	13.3 %	767 組合	12.0 %
3月23日~31日	985 組合	15.7 %	996 組合	15.6 %
4月~・確認中	39 組合	0.6 %	13 組合	0.2 %
小計	1,984 組合	31.6 %	1,853 組合	29.1 %
未妥結				
交渉中	2,290 組合	36.5 %	4,040 組合	63.4 %
妥結したか否か不明	1,995 組合	31.8 %	3 組合	0.0 %
妥結断念	1 組合	0.0 %	481 組合	7.5 %
小計	4,286 組合	68.4 %	4,524 組合	70.9 %
妥結済組合	2,086 組合		1,926 組合	
定昇相当分も賃上げ分も確保	939 組合	45.0 %	1,091 組合	56.6 %
定昇相当分確保のみ	244 組合	11.7 %	406 組合	21.1 %
定昇相当分確保未達成	12 組合	0.6 %	16 組合	0.8 %
協約確定(要求必要なし)	82 組合	3.9 %	46 組合	2.4 %
状況不明	809 組合	38.8 %	367 組合	19.1 %

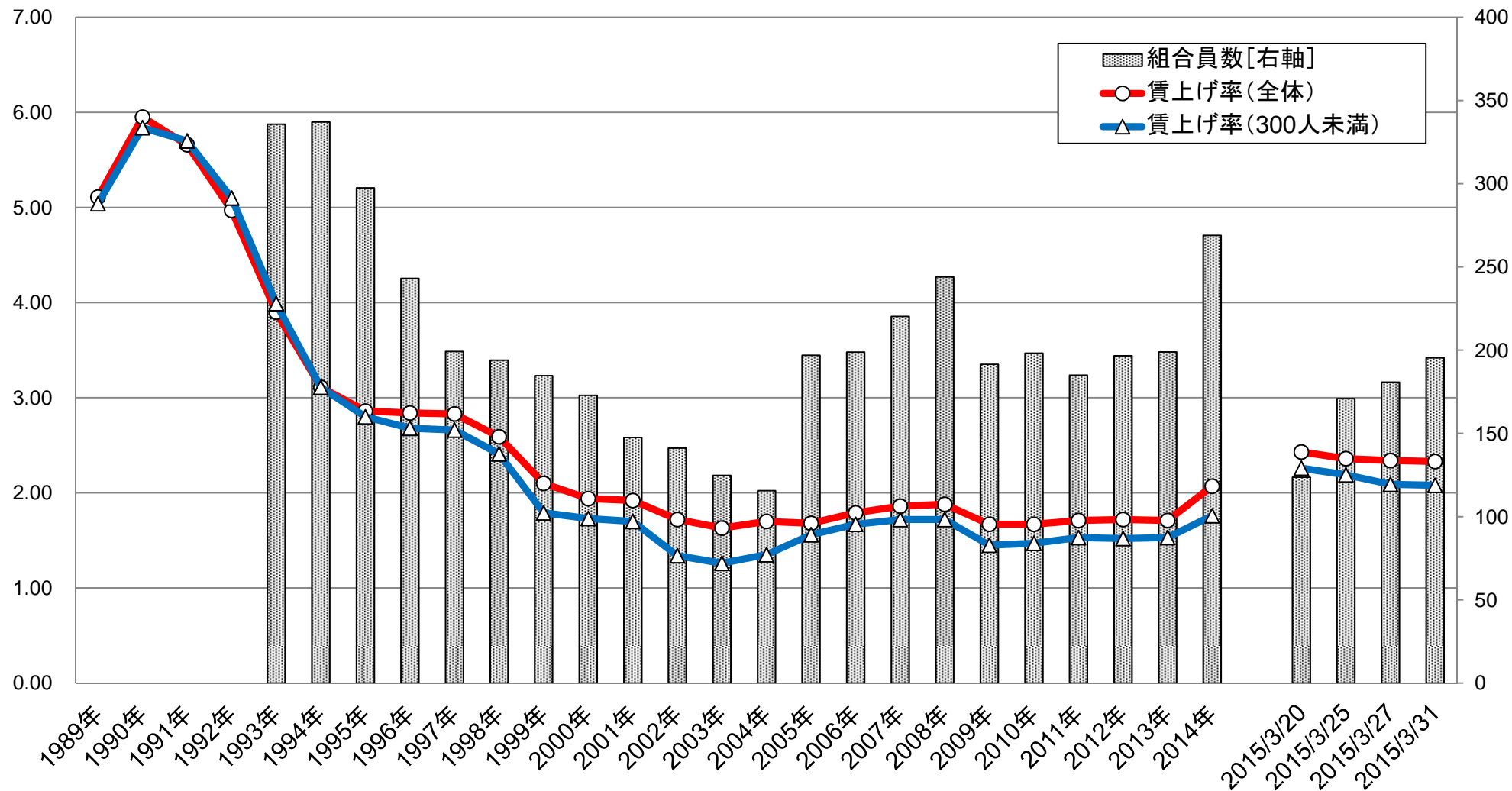
# 2015春季生活闘争集計結果(2015年3月31日現在)



賃上げ率(%)

[平均賃金方式での賃上げ率の推移]

集計組合員数(万人)



(出所) 日本労働組合総連合会(連合)調査

(注意) 2014年までのデータは、すべて6月末時点の最終集計結果。2015年データは集計日ごとの結果。

1992年までの集計組合員数のデータは確認できず。

# 2015春季生活闘争 中小労組元気派宣言

2014年12月



連合 総合労働局

## Q4 賃金の比較はどうすればいいのでしょうか

### (1) 地域ミニマム運動で集約された賃金との比較

1995年から、地方連合会が中心となって、中小企業で働く人々の低賃金の是正を目的として地域ミニマム運動を進めています。これは、それぞれの地方の賃金データを集めて、それぞれの地方の賃金水準を明らかにし、賃金の引き上げを皆でめざそうというものです。2015 春季生活闘争では、このデータをもとにして、それぞれの地域で業種ごとの特性値（※下の表を参照）を開示し、の賃金の底上げをはかる取り組みを推進しています（P15を参照）。

### ※2014 地域ミニマム（2013 年賃金実態調査）・業種別特性値表（全国）

#### < 年齢計 >

（単位：千円）

業種	平均 (参考)	第1 十分位	第1 四分位	中位数	第3 四分位	第9 十分位
全産業計	249.9	172.8	198.6	238.6	291.6	343.0
金属	259.1	182.2	210.3	251.0	300.7	346.1
化学・繊維	252.4	169.6	199.9	243.7	296.7	345.9
サービス・一般	254.6	167.9	194.0	236.7	297.7	366.9
建設・資材・林産	245.2	173.9	195.6	228.5	284.1	347.2
資源・エネルギー	293.8	179.9	210.3	273.9	361.3	451.5
交通・運輸	213.8	156.3	177.6	204.4	240.4	287.3
食品	252.7	167.0	197.7	240.0	295.3	357.6
商業・流通	242.6	171.6	194.8	230.9	278.7	330.2
情報・出版	240.5	171.7	198.0	230.9	277.0	319.4
保険・金融	240.5	175.3	192.0	228.7	277.2	326.1

### 解説 分位数について

分位数は、労働者を賃金の低い者から高い者へと並べて等分し、低い方から第何番目の節に位置するかを示す値です。

- 第1十分位数 = 全体を十等分し、低い方から1/10(10%)にあたる人の賃金。



- 第1四分位数 = 全体を四等分し、低い方から1/4(25%)にあたる人の賃金。



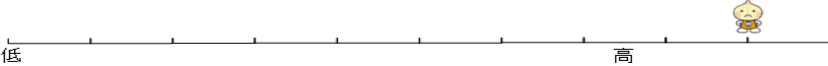
- 中位数 = 全体のちょうど真ん中(50%)にあたる人の賃金。5人なら3番目の人、6人なら3番目の人と4番目の人を足して2で割ったものになります。



- 第3四分位数 = 全体を四等分し、低い方から3/4(75%)にあたる人の賃金。



- 第9十分位数 = 全体を十等分し、低い方から9/10(90%)にあたる人の賃金。





## 2015地域ミニマム（個別賃金実態調査）都道府県別賃金特性値表

単位=千円

全国（全産業・男女計・規模計）2014年度

	都道府県	人数	平均	第1 十分位	第1 四分位	中位	第3 四分位	第9 十分位
1	北海道	3,843	231.1	162.0	186.8	218.4	265.0	320.8
2	青森	4,631	213.6	155.8	174.1	205.6	245.7	289.5
3	岩手	3,679	213.6	142.1	169.5	206.9	249.2	299.0
4	秋田	2,411	226.2	157.0	183.9	220.0	259.7	294.3
5	山形	3,489	250.1	173.1	201.0	241.4	288.9	337.0
6	宮城	2,386	238.9	154.9	184.0	226.1	288.0	349.8
7	福島	7,335	244.7	171.6	196.8	235.3	283.2	331.0
8	群馬	4,007	258.5	184.1	211.7	247.6	297.4	350.6
9	栃木	6,082	275.8	186.0	219.4	259.0	326.9	391.1
10	茨城	2,040	260.7	179.6	208.3	253.3	308.7	353.3
11	埼玉	4,752	282.9	196.7	230.9	278.0	328.2	375.0
12	千葉	1,029	254.0	180.5	188.3	208.2	310.2	402.2
13	東京	12,913	275.6	196.0	218.8	264.0	321.5	372.5
14	神奈川	2,268	285.0	198.3	231.7	275.9	327.1	387.1
15	山梨	4,256	285.0	192.1	223.2	272.6	332.6	398.9
16	長野	35,397	276.0	190.0	222.0	269.4	323.0	374.6
17	静岡	60,789	278.4	191.0	222.9	269.3	324.7	377.3
18	愛知	50,555	299.1	198.2	230.5	287.5	352.6	419.1
19	岐阜	11,537	270.8	185.9	215.7	260.7	318.7	370.0
20	三重	21,400	280.3	180.7	216.2	271.0	335.0	394.8
21	新潟	10,323	265.1	189.4	218.7	257.6	303.9	348.4
22	富山	16,826	258.9	182.2	211.5	250.8	302.0	347.1
23	石川	10,571	263.2	185.7	213.0	252.5	306.3	360.1
24	福井	7,380	246.0	178.2	204.5	241.0	282.3	322.1
25	滋賀	2,024	243.3	175.0	200.0	237.5	278.1	319.0
26	京都	4,576	273.1	199.7	224.5	267.4	311.8	354.2
27	奈良	2,118	285.7	190.2	220.1	267.8	334.6	406.7
28	和歌山	2,286	247.8	171.0	185.0	227.6	298.5	359.2
29	大阪	16,932	273.6	192.5	219.6	264.5	318.6	368.0
30	兵庫	11,496	288.4	199.9	234.0	282.0	335.8	385.1
31	鳥取	3,370	221.8	160.9	179.4	206.6	249.2	306.8
32	島根	6,913	252.8	166.3	194.0	237.1	300.7	363.9
33	岡山	7,131	264.9	176.4	203.0	252.3	311.7	377.8
34	広島	6,466	255.5	177.4	198.3	244.7	301.7	350.0
35	山口	1,437	249.9	173.2	195.4	239.7	296.0	343.5
36	香川	1,046	235.0	162.0	188.0	221.5	273.0	327.6
37	徳島	2,086	247.9	162.5	188.7	237.3	302.0	349.1
38	高知	2,594	248.3	172.5	198.1	242.2	290.1	339.1
39	愛媛	3,966	267.7	172.1	207.4	257.4	327.5	379.3
40	福岡	7,622	246.2	168.4	196.3	237.2	288.5	337.2
41	佐賀	856	238.6	164.4	188.5	230.1	282.2	316.9
42	長崎	1,023	227.7	158.7	183.6	214.1	264.9	310.2
43	熊本	2,229	262.3	178.9	203.8	246.1	312.6	375.5
44	大分	1,521	238.0	168.6	191.6	226.2	270.9	326.0
45	宮崎	1,104	255.4	168.4	188.7	248.1	303.9	374.5
46	鹿児島	5,361	232.8	154.9	181.2	221.0	276.0	324.6
47	沖縄	1,148	232.0	163.9	181.3	222.6	277.2	314.4
	計	385,204	270.3	182.0	212.8	259.7	317.8	373.1

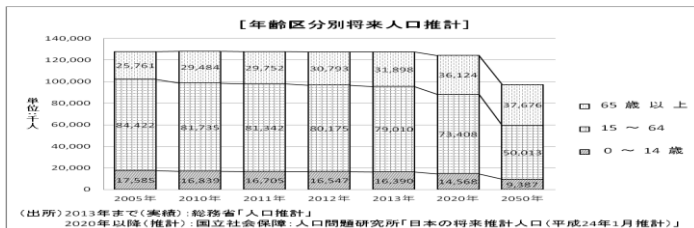
# 地域の活性化には中小企業の活性化が不可欠

## I. 日本社会の構造的な問題と中小企業の現状

### 1. 少子高齢化・人口減の成熟社会をむかえて

日本の総人口は現在の1億2千万人から、2050年には1億人を割り込むとされている。少子化・高齢化の進行も大きな問題に

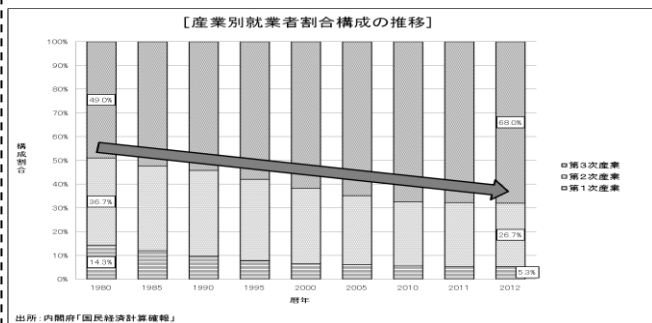
労働力人口(15~64歳)がどんどん減少し、将来的には高齢者(65歳以上)との比率が1:1に



### 2. 産業構造の変化

わが国は戦後から高度経済成長期への工業化を経て、成熟社会においてサービス消費が増加し、第3次産業が対GDP割合、就業者割合ともに増加傾向。製造業の海外進出も進行。

汎用品が輸入物品へ置きかわり、成熟社会においてサービス消費が増加した。今後内需を拡大しなければ、設備投資のマインドが醸成されない



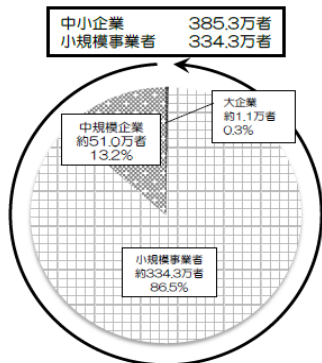
### 3. 中小企業の現状

日本において中小企業は経済を支える存在だが、厳しい現状に

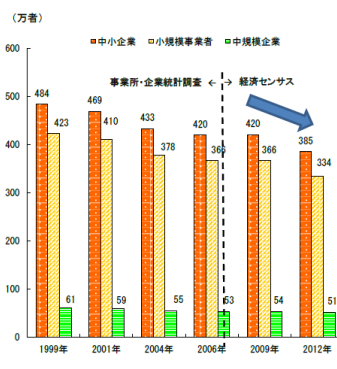
- 日本の企業数の99.7%が中小企業
- 従業員数でも約7割を占めている

中小企業の企業数は厳しい経営状況からここ数年減少傾向にある

企業の倒産はもちろん問題だが、新しく事業をはじめる担い手も著しく減少しているという現実も



中小企業の企業数推移



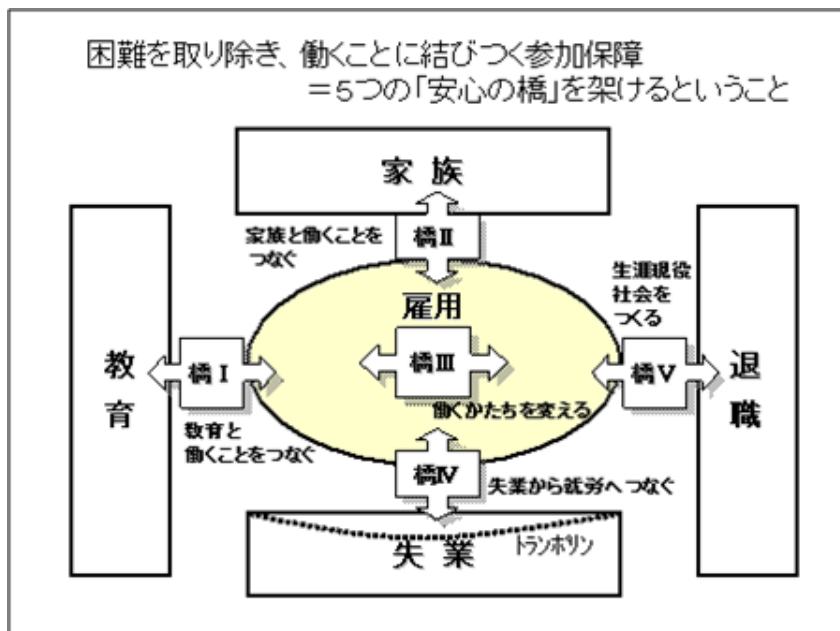
起業の「担い手」の推移



それぞれの地域での中小企業の活力向上が日本全体を元気にするカギ!

連合のスローガン：『働くことを軸とする安心社会』

教育機会の拡充、雇用機会の創出、両立支援、セーフティネットの再構築など、働きたい人の前に立ちはだかる困難を取り除き、人々を「働くこと」に結びつける5つの「安心の橋」(制度や政策)を整備する



## III. 2015春季生活闘争の位置づけ

2015春季生活闘争では、未組織労働者も含め社会全体の賃金・労働条件の「底上げ・底支え」と「格差是正」の実現を通じ、「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」を果たす必要がある

- 労使交渉で・・・賃上げの取り組みを進めるとともに、時短を進める
- 政策により・・・「総合生活改善闘争」として、実質生活の向上をめざして取り組む

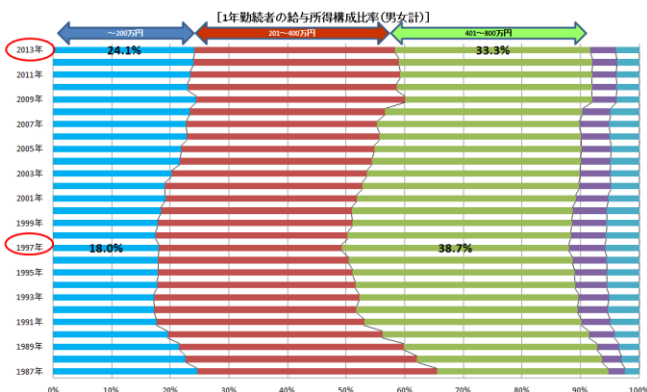
**賃上げ**  
賃上げで景気底上げをはかる

**時短**  
長時間労働の撲滅をはかるとともに、ワーク・ライフ・バランス型社会の実現をめざす

**政策・制度実現の取り組み**  
企業労使では解決できない社会保障や税の問題などの解決をはかる



地域の活性化とすべての働く者の処遇改善を一層すすめていくために・・・

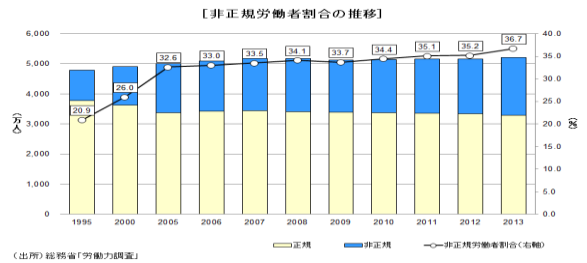


それぞれの地域でフォーラムを開催！

## 1. 開かれた春闘の必要性

労働組合のない8割の未組織労働者や非正規労働者への波及

労働組合のあるところが、労使で交渉することのできない多くの未組織労働者や非正規労働者の捌け口としての役割発揮



## 2. 地域の活性化

現場の様々な立場の人が集まった意見交換の場の必要性

中央省庁や地方自治体(県や市町村)でも様々な取り組みを行っているが...



地域活性化に向けて住民を含めた幅広い立場の人の意見交換を行うための声かけ(パイプ役)ができるのが労働組合!

## V. 地場産業や中小企業の活性化に向けて

重要ポイント：『**地域ブランド**』をいかにして高めるか

少子高齢化、人口減少社会においては、地域で生産された商品や資源を地域で消費する『地産地消』のみならず、地域の資源や商品といった『地域ブランド』を外部へ売り込むことが必要

### 地域財産

- 木材などの資源
- 食料などの農畜生産物
- 部品や商品などの工場生産物 などなど

国内の首都圏へ



そして海外へ



しかしながら...

中小企業の販路拡大などはなかなか進んでいないのが現状。その要因は...

商品のPRのやり方が不足している?

商品の売り方に問題がある?

販売ソース開拓のノウハウがない?

国や自治体、そして連合(労働組合)として取り組めることは・・・(例示)

## 国、自治体としてできること

中小企業の持続的な発展のための環境整備を！

### ①地域の需要の掘り起こし

- ・地域の中小企業の商品・サービスに対する重要を掘り起こす

### ②質の高い公共サービスの提供

- ・適正価格での公共工事などの民間委託で地元企業の活用促進を
- ・中小や新規企業でも参入できるよう「公契約条例」によって入札環境を整備

### ③資金繰りや事業継承の支援

- ・資金繰りの円滑化や、後継者不足・財政上の理由などから事業継承が難しい中小企業をサポートする体制、法令の整備

## 連合(労働組合)ができること

幅広いネットワークを生かした連携拡大を！

### ①連合カタログの作成

- ・連合に加盟する構成組織の会社、商品をアピールするカタログを作成  
→国内のみならず、海外駐在も含めた構成組織産別、単組の組合員の“声を聞く”

### ②地方の名産品を販売

- ・地方連合会が窓口となり、地方の名産品を販売し、地域ブランドをアピール  
→東北の復興支援として行われている物産展などを全国各地域での取り組みへ



連合(労働組合)を顔つなぎ役とし、経済団体や福祉団体、住民なども集ったフォーラムを通じた意見交換から地域全体の活性化へ！！

・フォーラムの開催  
・対話の機会増加

・観光客の増加  
・公共サービスの充実

・中小企業の活力向上  
・新規事業立ち上げ

# 地域全体の活性化

・地域の商店街の活性化  
・自治体の税収増加

・地元での雇用の増加  
・若者の人材流出阻止



# 地域フォーラムの開催状況（開催済）

都道府県	開催日時	開催場所	フォーラム名	概要等
愛知県	2015年3月1日(日) 14:00～16:00	栄ガスビル	2015春季生活闘争連合愛知 地域フォーラム 「地域の活性化には中小企業 の活性化が不可欠」	①課題提起(中京大学経済研究所 内田俊宏氏) ②パネルディスカッション →コーディネーター：内田俊宏氏 →パネリスト：連合本部(神津事務局長)、愛知県 (森岡副知事)、愛知中小企業家同友会(加藤代表理事)、 民主党(大塚耕平議員)
福井	2015年2月23日(月) 13:30～16:30	福井商工会議 所ビル	2015年労使フォーラム	対象：連合福井、経営者協会会員(80～100名規模) ①「経労委報告の説明」(経団連・新田氏) ②2015闘争方針等の連合の考え方(新谷総合局長) ③シンポジウム「労働基準法改正・労働時間規制緩和 を考える」
佐賀県	2015年3月21日(土) 13:30～16:40	龍登園	フォーラム「地域の活性化に は地域の中小企業の活性化 が不可欠」	①基調講演(古賀会長) ②パネルディスカッション

# 地域フォーラムの検討状況

都道府県	開催日時	開催場所	フォーラム名	概要等
群馬県	2015年7月25日(土) 13:00～17:00	前橋テレサ	地域活性化フォーラム(仮)	①県民意識調査と政策制度要求・知事提言の説明 ②基調講演(藻谷浩介氏) ③パネルディスカッション →コーディネーター:小竹准教授(群馬大学) →パネラーは今後検討
茨城県	2015年7月28日(火)	水戸京成ホテル	検討中	詳細調整中 ※基調講演に富山和彦氏を招聘
長野県	2015年8月頃	検討中	「働くことを軸とする安心社会」 タウンミーティング(仮)	詳細検討中
三重県	2015年5月23日(土)	じばさん三重	働くことと地域づくりフォーラム (仮称)	以下の内容で検討中(250名規模) ①基調講演(神津事務局長で調整中) ②パネルディスカッション →行政、経営者団体、連合本部、企業を予定
京都府	2015年5月下旬～6 月上旬	検討中	検討中	「地域の活性化には地域の中小企業の活性化が不可欠」をテーマに詳細検討中
山口県	2015年8月6日or7 日(調整中)	検討中	検討中	若者雇用をテーマに調整中(労使共催)
徳島県	2015年6月20日(土)	徳島県阿南市 内(調整中)	「地域活性化フォーラムin Anan(Tokushima)」 ～良質な公共サービスで街は 変わる～	①基調講演 テーマ:「地域活性化と公共サービス」仮称 講師:中央大学法学部 教授 宮本太郎さん ②フリーディスカッション
高知県	2015年6月～7月頃	検討中	検討中	公契約条例をテーマにしたフォーラムを検討中
熊本県	2015年5月16日(土)	検討中	検討中	経営者協会、社労士会、行政を交えたフォーラムを開催予定
大分県	2015年6月19日 or 20日	検討中	検討中	検討中